

路線概要

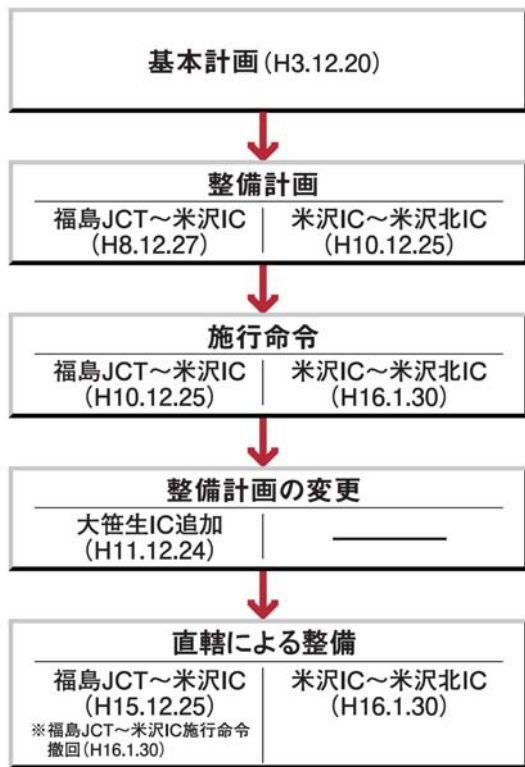
東北中央自動車道は福島県相馬市を起点とし、福島市・米沢市・山形市・新庄市などを經由して、秋田県横手市で秋田自動車道に連結する総延長約268kmの高速自動車国道です。

当該路線は、福島県・山形県・秋田県の内陸部の主要都市を結ぶとともに、常磐自動車道、東北自動車道、山形自動車道、秋田自動車道と接続することから、南東北における高規格道路網を形成し、地域間交流はもとより緊急時における代替および迂回等のネットワーク機能の強化を担う路線です。

現在、山形上山ICから東根IC間が開通し、山形自動車道と山形JCTで接続されました。これにより山形市周辺都市での高速交通体系の一部が完成したと言えます。

今後はネットワークの確実な完成を目指し、福島JCT(仮称)～米沢北IC間と東根IC～尾花沢IC(仮称)間を直轄により事業を進めていきます。

事業計画の推移(福島JCT～米沢北IC)

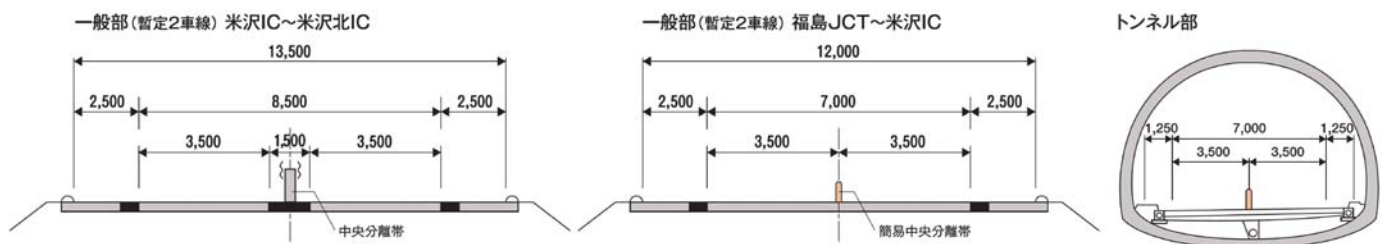


※上記 IC、JCT は全て仮称となります。



▲東北地方高規格幹線道路網整備状況図

標準横断面

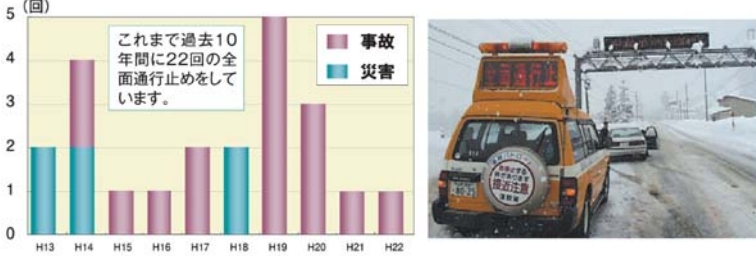


栗子峠走行における安心感・確実性を大きく向上

大雨や風雪による事前通行止めを解消します。

- 現在の栗子峠は、大雨や風雪により災害発生の危険があるため、一定の基準を越す大雨や風雪が観測されると通行止めを余儀なくされます。
- 東北中央自動車道が整備されると、このような規制を気にせず通行が可能です。

【通行止め実績】



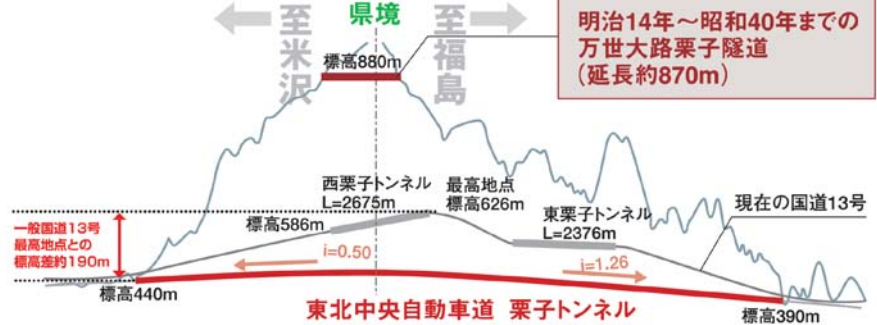
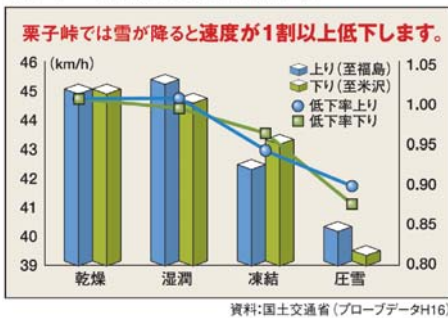
(注) 一般道路および供用済みの高速道路の所要時間は、道路時刻表(2005~2006年)による。なお、高速道路の未供用区間については100km/h(一部区間は80km/h)で算定した。

雪による交通障害を解消し、冬期間も安定した交通機能を確認します。

- 現在の栗子峠は、豪雪地帯を通過することから、冬期の交通障害が頻繁に発生しています。
- 東北中央自動車道が整備されると、峠部をトンネルで通過するため、雪の影響も大幅に小さくなります。



【栗子峠の冬期旅行速度と速度低下率】



福島市～米沢市間の所要時間を大幅に短縮します。

- 自動車専用道路の整備により、福島市～米沢市間の所要時間を大幅に短縮します。

(注) 一般道路および供用済みの高速道路の所要時間は、道路時刻表(2005~2006年)による。なお、高速道路の未供用区間については100km/h(一部区間は80km/h)で算定した。また、所要時間は市役所間で算定している。

【福島市～米沢市間の所要時間の変化】

